

めざせ防災マイスター

キーワード

1. 防災の意識をもつ
2. 自然災害に備える（心の準備・情報収集・技術の習得）
3. 自分の身は自分で守る
4. そなえよつねに
5. 防災、減災教育の促進

活動の目的・目標

1. 地域住民が防災の意識を持ち、心の準備・情報収集・技術の習得をし、自然災害に備えることで、自分で自分の身を守ることができるようにする
2. ガールスカウト日本連盟発行の『めざせ防災マイスター アクティビティ集』を活用し、一人ひとりの防災力が養われることにより、地域において防災・減災教育を推進する担い手を増やす

活動の対象者

兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県青少年本部、兵庫県青少年団体連絡協議会（青団連）の皆さん26人

活動内容

実施日時：2024年10月28日(月)
主催：兵庫県青少年団体連絡協議会
参加人数：26人

【実施の経緯】

兵庫県青少年本部からガールスカウトの防災に関するプログラムを紹介してほしいと依頼を受け、ガールスカウト兵庫県連盟の指導者が、『めざせ防災マイスター アクティビティ集』をもとに、防災・減災教育をおこなった。

●ガールスカウト防災・減災プロジェクト

<https://www.girlscout.or.jp/activities/badges/disaster-prevention-education/>

【実施内容】

① アクティビティ集の紹介

- ・なぜこのアクティビティ集を作成したか
東日本大震災をきっかけに、その後も起こる予想不可能な災害に備える手立てとなるよう作成した。
- ・目的と年代ごとの到達目標を設定し、年代に応じて取り組めるようになっている。
- ・構成について
アクティビティ集は3つの大きな柱で構成され、それぞれにねらいがある。
 1. 自分の周りを知る
 - ・自分の町 住んでいる地域を知り、起こりうる災害に備える
 - ・避難 災害が起きたとき、素早く身の安全を確保し、避難できるように備える
 - ・つながり 情報収集と発信ができるようにする

活動内容

II. 備える

- ・点検 室内外を点検し、安全を確保するための対策をする
- ・持ち物 非常時に使える持ち物を準備する
- ・備蓄品 災害に備えておくべきものを理解し、準備する

III. 技術を磨く

- ・救急法・ロープワーク・方角・測定・ソング&レクリエーション
- 日頃おこなっているこれらのガールスカウト技術が災害時のどんなときに役立つかを知っておく

② 自然災害を知る

アクティビティ集に掲載の資料をもとに、災害の種類、自然災害のレベルについて学んだ。



(アクティビティ集P.8-9「アクティビティをおこなう前に～自然災害を知る～」)

③ アクティビティ「避難場所を知ろう」の実践

- ・避難場所と避難所の違いについて調べ理解する。
- ・避難場所はその地域の住民が利用するかなどを調べる。
- ・災害の種類により避難場所が変わる地域もあること知り、災害が起きた際に速やかに移動できるようにする。
- ・ワークシートを活用し、発災時から一週間後までをイメージしてどのように行動すると良いのかを考える。
- ・ワークシートに書いたことの共有をおこない、新たな気づきを得る。



(アクティビティ集P.16-17「避難場所を知ろう」)

活動内容



(アクティビティ集P.71 ワークシート「災害イメージ」)

④ まとめ・ふりかえり

日本は災害大国である一方で、豊かな自然に恵まれ、さまざまな恵みをもたらしてくれる。自然は決して怖いだけのものではない。自然に感謝の気持ちを忘れず、自然災害から生き抜く力を育てていくことを確認した。本プログラムを実施し、防災・減災についての理解ができた。

全員が「防災マイスターバッジ」を着用し、これから地域防災の促進力となるよう働きかけた。



『めがせ防災マイスターアクティビティ集』



防災マイスターバッジ



(左) 参考：アクティビティ集P.40-41 II.備える より、「簡易トイレを作ってみよう」
 (右) 参考：アクティビティ集P.40-41 III.技術を磨く より、「火を起こしてみよう」

活動内容

【活動写真について】

当日は最初に説明をおこない、その後、アクティビティの実体験を行った。写真は説明中のものである。



紹介した活動とは異なる活動になるが、ガールスカウト会員が『防災マイスター アクティビティ集』をもとに活動している様子の写真を参考までに添付する。



(左) 活動場所の避難経路やさまざまな表示を確認する
(右) ダンボールで簡易トイレを作る

活動の特徴

1. 年代ごとの到達目標を踏まえてプログラム展開
2. 「知る」「考える」「やってみる」の視点を含むように構成
3. 生活や社会に役立つ実践的なアクティビティ

参加者の声・感想

- 生活に役立つ内容になっているのがよい
- とてもよいプログラムなのでもっと一般の人にも紹介してほしい (YMCA)
- 冊子を購入できるならプログラムを実施したい
- 自分たちも同じようなプログラムがあるので、参考にしたい (県教委)

参考情報

防災教育 ガールスカウト防災・減災プロジェクト

<https://www.girlscout.or.jp/activities/badges/disaster-prevention-education/>

団体・組織情報

【団体・組織名】 公益社団法人ガールスカウト日本連盟

【設立年】 1952年

【所在地】 東京都渋谷区西原1 - 40 - 3

【団体概要】

47都道府県に連盟があり、活動拠点である団は889カ団ある。ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の一員として、ガールスカウト運動を普及する。この運動を通じて、少女と女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として自ら考え行動できる人となるよう育成し、自らの可能性を最大限に伸ばし発揮できる社会の形成を推進することを目的としている。

【URL】 <https://www.girlscout.or.jp/>

担当者情報

【担当者名】 宮岡広子

【所属】 社会連携グループ

【Eメール】 kouhou027037@girlscout.or.jp

【電話番号】 03-3460-0701